



延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広
電話 49-0004 FAX 49-2761

いじめ対策にかかるとの3つの方針 小山市では学校ごとに『いじめ対策アクションプラン』を作成しています。本校の『いじめ0』を目指した方針を以下の3つに決めました。

- 『いじめ0』を目指す3つの方針
- ◎方針1 いじめをしない、させない、見逃さない基盤づくりに **全力**で取り組む
 - ◎方針2 授業を中心として教育活動に **全力**で取り組む
 - ◎方針3 家庭・地域の共育力を高め、同一歩調でいじめ対策に **全力**で取り組む

重点は以下ようになります。

- ◎方針1 「基盤づくり」
 - ◇教職員一人ひとりが高い危機意識をもつ
 - ◇高め合う集団づくり（学業指導・小中一貫研究）を意識し、良好な人間関係を構築する
 - ◇全校体制で迅速に対応し、いじめは許さない学校作りに努める
- ◎方針2 「授業づくり」
 - ◇「ほめて伸ばす小山の授業」を推進する
 - ◇「学業指導」を意識する
 - ◇心を育てる教育と中心となる道徳教育を推進する
 - ◇教師自身の授業力向上を目指す
- ◎方針3 「共育づくり」
 - ◇保護者への啓発と情報提供を行う
 - ◇関連機関との連携を行う

これらをもとに、具体策が実践されます。（下図参照）本校のいじめ防止に対する今年度のアクションプランを、先日の職員会議で全職員で確認しました。これをもとに、いじめを許さない延島小学校づくりを進めていきます。いじめ防止に関しては小山市では大人宣言もあります。本校では方針の3で家庭・地域との共育によりいじめ0を目指しています。いじめ問題には特に家庭との連携が大切だと考えています。学校では見えない家庭での子どもたちの様子をよく見ていただき、御心配になることがありましたら、早めに担任に御相談ください。一緒に今まで以上に子どもたちの笑顔を守っていききたいと思います。よろしく願いいたします。

いじめ対策 アクションプラン

『いじめ0』を目指す3つの方針

- ◎方針1 いじめをしない、させない、見逃さない基盤づくりに**全力**で取り組む
- ◎方針2 授業を中心として教育活動に**全力**で取り組む
- ◎方針3 家庭・地域の共育力を高め、同一歩調でいじめ対策に**全力**で取り組む

方針1 基盤づくり	方針2 授業づくり	方針3 共育力づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人ひとりの危機意識を高める ・高め合う集団づくり（学業指導・小中一貫研究）を意識し、良好な人間関係を構築する ・全校体制で迅速に対応し、いじめは許さない学校作りに努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほめて伸ばす小山の授業」を推進する ・「学業指導」を意識する ・心を育てる教育と中心となる道徳教育を推進する ・教師自身の授業力向上を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への啓発と情報提供を行う ・関連機関との連携を行う
<ul style="list-style-type: none"> ◇児童指導、教育相談、人権教育 ◇児童指導委員会、校内体制の強化、教育相談 ◇週刊「QU」掲載、人権研修（嵐、空） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童の主体的活動 ◇いじめ0サミットの伝達・いじめ防止連絡週間 ◇いじめ防止委員会、学校でのいじめ防止の結合 ◇心を育てる週間、公開授業 	<ul style="list-style-type: none"> ◇関係機関との連携 ・PTA、自治会、市の機関等

延島小 笑顔

授業参観、懇談会ありがとうございました



『3つの心』の『本気で勉強する』姿を本気で参観していただきました。ありがとうございました。また懇談会では皆様が各担任からの話や確認事項等を熱心に聞いてくださっている様子を拝見しました。皆様の様子から、担任の指導方針を十分に理解して学校とともに子どもたちを教育（共育）していこうという思いを感じました。これからも子育ての当事者として学校と力を合わせて、お子さんの健全な成長のために御努力くださいますようお願いいたします。



陸上大会の練習が始まりました

例年どおり、夏休み（7月24日）に小山市の陸上競技大会が開かれます。本校の高学年児童も学校を代表して出場します。人数が少ないということ、練習時間がなかなかとれないということなど、難しい状況ではありますが、できる範囲で精一杯の競技ができるよう頑張らせたいと思います。

指導のめあてを考えます。学年に160名もいるマンモス校と、10名前後しかない本校のような小規模校が同じ土俵で競技します。競技に勝つことも大切ですが、次のように、指導する意識の置き所を考えます。

一つ目 本番のときに迷わないようにしてあげること

本番と同じような状況をつくり、何度も経験させてあげることです。招集がかかって、その場に行って、どうしていいかわからずおどおどして、気がついたら終わっていたということでは、この経験が無駄になってしまいます。子どもたちが安心して、いい緊張感で競技できるようにしてあげることが大切です。

二つ目 充実感を味わわせてあげること

特に教育の場では大切なことです。子どもたちに頑張った、一生懸命やったという思いをもたせたいです。子どもたちをその気にさせる言葉かけを繰り返して行きます。

大人になったときに、自分の子どもに、小学生のときにここで走ったんだよと自慢できるぐらい、記憶に残るものにしてあげられるといいかなと思っています。



渡良瀬遊水地の日

2012年7月3日に渡良瀬遊水地がラムサール条約の湿地として登録されたことを機会に、小山市では7月3日を「渡良瀬遊水地の日」としています。

本校でも朝会の時間を利用し、渡良瀬遊水地についての話と3年生の社会科見学での紙づくりの発表、給食の時間にクイズ等を行って、小山市の自慢を強く意識づける活動を行いました。子どもたちもより具体的に渡良瀬遊水地のことを知ることができたのではないのでしょうか。同時に、延島小の自慢も再確認できるいいなと思いました。



ジャガイモ掘り7/1

昨年度末に今の中学1年生が蒔いてくれたジャガイモの収穫が行われました。少し小さめのような気もしましたが、立派なジャガイモがリヤカーいっぱい掘り出されてきました。子どもたち一人ひとりがビニール袋をもって順番に選んで持って帰りました。低学年児童は重そうでしたが、足にぶつけながらも大切に持って帰りました。